知覧の水車カラクリ

【所　在　地】南九州市知覧町郡 16510　（知覧水車からくり保存会）
【種　　別】県指定有形民俗文化財
【指定年月日】昭和 58 年４月 13 日

「花嫁かじいさん」

「かぐや姫」

「デメジンのカラクイ」（大明神の絡繰）とよばれて，古くから知覧の人びとに親しまれてきたカラクリ人形で毎年７月９日の豊玉姫神社の六月灯に公開される。これまで伝承者の創意や工夫で「五条の橋の牛若丸と弁慶」，「天岩戸」，「浦島太郎」，「桃太郎の鬼退治」などが公開されてきた。

このカラクリ人形は水車を動力源とし，木製の各種の歯車，滑車，錘子，ツルギという木製キャタピラ状のベルトコンベアなどを使って，人形の位置が変わるばかりでなく，手足や首も複雑に動くように工夫されており，他に例を見ない。現在，同神社には，歯車やツルギなどの機構材のほか，人形数体，人形のさまざまな持物などか残されており，それらに基づいて正確に復元されたものが公開されている。

古くは, 男児の初節供に車つきのカラクリ人形を道端に置き, 衆人に見せる風習があり, これと関係あるものと推測される。

昭和 59（1984）年 12 月 20 日，加世田の水車カラクリとともに，記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（名称：「薩摩の水からくり」）として国により選択された。